書式第１２号（法第２８条関係）

**事　業　報　告　用**

# 2025 年度　　事　業　報　告　書

**特定非営利活動法人　　報道実務家フォーラム**

## 1　事業の成果

### 1.1　全体の経緯

報道実務家フォーラムは 2010 年に始まり、報道実務家のスキル向上と交流の場として発展してきた。当初は、優れたスクープや企画報道を手掛けた記者らによる講演・質疑応答を中心とした単発イベントとして平日夜に開催され、数十人から 200 人超が参加した。

2017 年からは、米国のＩＲＥやＧＩＪＮを参考にした「拡大版」を開始。新聞、通信、放送、デジタルメディア、フリーランスなど多様な記者が集い、学びと交流を深める場となった。スクープ報道に加え、オープンデータや最新技術の活用など実務的な講座も導入した。参加者は 2019 年に約 370 人まで増加し、コロナ禍の 2020、2021 年度はオンライン開催ながら 150～200 人が参加した。2022 年度以降はリアルとオンラインのハイブリッド形式となり、毎年約 750 人が参加。懇親交流会にも 200 人超が集まった。

2025 年度はリアル・オンラインを合わせ過去最多となる約 770 人が参加した。地方取材から海外取材まで幅広い内容に対応し、会社や所属、業種を超えるジャーナリストの交流を実現した。国内のジャーナリズム研修イベントとしては最大級の規模に成長し、現場を担う報道実務家が会社や業種の違いを超えてともに学び、議論する場は国内には極めて少ない中で報道界において貴重な場となっている。

メインイベントである上記フォーラムに加え、優れた報道を顕彰する「調査報道大賞」や地方フォーラムも開催した。地方フォーラムは、これまで開催した青森、大阪、名古屋に続き、2025 年度には 2 回目となる福岡での開催を実現させた。オンライン・リアル合わせて 97 人が参加し、「会社の枠から視野が広がり、仕事への意欲が高まった。大分合同新聞社の講座では、本音がにじみ、とても身になったと思います」「メディアの取り組みの専門的な知識を手に入れられた」など、好評を得た。参加者からは、実践的な内容で日常業務に直結する学びが多かったとの声が寄せられ、他社の事例や多様な視点に触れることで、自らの実務を見直す契機にもなったとの評価があった。今後も、地域メディアの役割や課題について理解を深めるとともに、実務に生かせる知識や技能を習得できる機会として、継続的な実施が期待される。

講座の録画や資料などを提供する「ライブラリー」の運営や、報道機関に就職したい大学 3 年生らを対象にした「就職活動支援ゼミ」のほか、海外のジャーナリズム団体との協力などの活動も続けている。また、全国高等学校新聞教育研究会主催の「第 2 回全国高校新聞コンテスト」を後援し、運営会員を審査員として派遣した。

こうした実績の中で、報道実務家フォーラムは運営を安定させるため 2019 年 4 月に特定非営利活動法人（ＮＰＯ法人）としての法人格を取得。2025 年度には、認定 NPO となった。徐々に知名度を高め、「報道実務家同士のつながり」「報道実務に特化したスキルと知識の向上」を重視する独自性を発揮し、その社会的意義がますます注目されている。

1．2　組織運営

（1）2025 年度理事・監事



（2）理事会・総会の開催

（理事会）

第 12 回理事会…2023 年 6 月 10 日（オンライン）

2023 年度定期総会の議案書（案）について

第 13 回理事会…2024 年 2 月 15 日（オンライン）

2023 年度活動報告、2024 年度活動計画、業務謝礼等規程などの制定

第 14 回理事会…2024 年 6 月 2 日（オンライン）

2024 年度定期総会の議案書（案）について

第 15 回理事会…2024 年 6 月 9 日（理事全員による書面・電磁的方法による表決）

理事長、副理事長の選出

第 16 回理事会…2024 年 7 月 16 日（理事全員による電磁的方法による表決）

全国高校新聞コンテスト後援について

第 17 回理事会…2025 年 2 月 16 日（オンライン）

2024 年度活動報告及び今後の活動方針、今後の理事会日程

第 18 回理事会…2025 年 6 月 1 日（オンライン）

2025 年度定期総会の議案書（案）について

第 19 回理事会…2026 年 2 月 1 日（オンライン）

理事拡大、運営会議明確化、理事会の持ち回り可能化など次世代への改革案報告

第 20 回理事会…2026 年 5 月 30 日（オンライン）

2026 年定期総会議案書（案）、理事拡大・運営会議明確化などの定款変更、運営会議細則、そのほか規程案

（総会）

第 9 回通常総会…2026 年 6 月 7 日

2025 年度活動報告の承認

2025 年度活動計算書、貸借対照表、財産目録の承認

2026 年度活動計画書、2026 年度事業計画書の承認

2026年度活動予算書の承認
監査報告

（3）会員（3月31日現在）
正会員　　32　（前年…30）
賛助会員（個人）　164　（前年…151）
賛助会員（団体）　3　（前年…2）
計　　194　（前年…183）
参考資料の
（4）運営体制
　イベント計画・講座内容立案など事業方針については運営会員と下記の事務局で構成する運営会議で決定している。運営会議は原則1か月に1回開催する。
　事務局は、[redacted]、運営会員4名、非常勤職員1名、業務委託先である株式会社コパイロットの担当者で活動し、週 1 回事務局会議を開いている。なお経理については特定非営利活動法人ジービーパートナーズに一部業務委託している。

1．3　事業活動

●4月　報道実務家フォーラム2025
　昨年度に続き、リアル会場とオンライン中継も同時に行うハイブリッド形式で開催した。3日間、44講座を開講し、意義あるスクープの舞台裏のほか、ITやデータ活用やジェンダーを考える講座など多彩な内容とし、リアル・オンライン合わせて昨年度同様に過去最多となる約770人が参加した。

●4～9月　調査報道大賞の運営
　すぐれた調査報道を称え、広く社会に知らせる「調査報道大賞」第5回をスローニュース株式会社と共同で募集・選考した。計100の候補作が集まり、報道実務家フォーラム参加経験がある報道実務家が第1次投票、さらに[redacted]の各氏からなる選考委員会で議論し、次の各賞を授賞した。授賞式は10月にリアル開催するとともにオンライン中継した。
・大賞
NHKスペシャル「冤罪の深層～警視庁公安部・内部音声の衝撃」（NHK）
兵庫県における公益通報や知事選、誹謗中傷等をめぐる調査報道　（TBSテレビ『報道特集』）
・優秀賞
全国紙・NHK部門：
連載ルポ「追跡 公安捜査」など、警察庁長官狙撃事件と大川原化工機事件を巡る一連の報道（毎日新聞）
地方紙・専門紙部門：
企業版ふるさと納税の「寄付金還流」疑惑に関する一連の報道（河北新報）
長野県石油商業組合「ガソリン価格カルテル疑惑」を巡る一連のスクープ（信濃毎日新聞社）

映像部門　優秀賞：
QAB 報道特別番組「誰のために島を守る～自衛隊配備 その先に～ 」（琉球朝日放送）
・奨励賞
全国紙・NHK 部門：
教員性犯罪公判　横浜市教委による傍聴阻止を明らかにした一連の報道　（共同通信・東京新聞）
地方紙・専門紙部門：
ホームレスは、どこへ行った―岐阜の現場から―（岐阜新聞）
独立メディア・雑誌・フリーランス部門：
屋久島町政をめぐる一連の調査報道／町長交際費問題、補助金不正請求事件など（屋久島ポスト）

●12 月　調査報道大賞スペシャル 2025
上記調査報道大賞の受賞者を講師として、その取材の方法、報道にあたってのポイントを話してもらう 8 講座を開催。50 人以上が参加した。

●通年　報道実務家フォーラムが加盟する世界調査報道ネットワーク（ＧＩＪＮ）による「調査報道の手引き」の翻訳掲載
世界調査報道ネットワーク（ＧＩＪＮ）が持つ豊富な取材・報道の手引きを英語から日本語に翻訳し、フォーラムのウェブサイト上に掲載している。実施に当たってはＧＩＪＮより支援を受けている。内容は▽助成金・フェローシップ一覧▽内部告発者との協力▽女性ジャーナリストのためのリソースーなどで、世界レベルの取材報道ガイドに日本の報道実務家が触れる機会となっている。

●通年　子育て記者の知恵と経験共有サイト「ＢＡＣＫ　ＴＯ　ＴＨＥ　ＮＥＷＳＲＯＯＭ」（https://www.backtothenewsroom.jp/）を運営
出産後、報道の現場で子育てと仕事の両立に悩む全国各地の記者や編集者、ディレクターに、記者がインタビューし、経験とそこから生まれた知恵を発信している。2024 年度はサイトをリニューアルし、新規記事を複数回掲載した。育休を取得した男性記者の対談、記者やディレクターに子どもがいるからこそ実現した仕事の実践紹介など幅広い内容を載せている。

●通年　「報道実務家フォーラム・ライブラリー」運営
これまでの報道実務家フォーラムで蓄積した講座動画などの資料を有効活用する「報道実務家フォーラム・ライブラリー」を定期購読方式で提供する事業を開始すべく準備を進め、2025 年度に運用を開始した。新たなウェブページを設置するとともに、サブスクリプション方式で利用料を集め、かつ、報道実務家フォーラム参加経験者だけが利用できる仕組みを構築した。登録者は約 50 人と着実に増えており、今後もより多くの報道実務家が知見を共有し合える場として、さらに充実を図っていく予定である。

2　事業の実施に関する事項

（1）特定非営利活動に係る事業　　（事業費の総費用【　9407】千円）

| 定款に記載された事業名 | 事業内容 | 日時 | 場所 | 従事者人数 | 受益対象者範囲 | 受益対象者人数 | 事業費（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 報道実務家のスキルと知識を高めるための、研修、交流、情報交換・情報提供に係る事業 | 良い報道を手がけた記者や情報公開専門家の講座を開く報道実務家フォーラム 2025、地方フォーラムなどの開催 | 通年 | 東京都内、オンライン、福岡市内 | 30 人 | 記者、編集者など報道実務家、学生、教員、一般市民 | 約 870 人 | 7422 |
| | 子育て記者のスキルと知識を高める情報ウェブサイトの運営 | 通年 | オンライン | 5 人 | 記者、編集者など報道実務家、一般市民 | — | 578 |
| | ウェブサイトを通じた情報提供 | 通年 | オンライン | 10 人 | 記者、編集者など報道実務家、学生、教員 | — | 0 |
| 報道・取材の自由、表現の自由、記者・編集者の権利、ジャーナリズムの発展推進に関する事業 | 調査報道大賞の運営 | 4 月～10 月 | オンライン、東京都内（対面での催しが可能な場合） | 20 人 | 記者、編集者など報道実務家、学生、教員、一般市民 | －（応募者としては 100 人） | 494 |
| | ジャーナリズムの現状に関する研究受託 | 4 月～12 月 | 東京都内、オンライン | 6 人 | 一般市民、記者、編集者など報道実務家、研究者、学生 | － | 553 |
| | 報道実務家を目指す学生向けのゼミナール | 通年 | 東京都内、オンライン | 3 人 | 学生 | 80 | 358 |

（注）各事業費の値は千円未満切り捨てであるため、その合計と「事業費の総費用」とにずれが生じる

書式第１３号（法第２８条関係）

**事業報告用**

# 2025年度　活動計算書（その他事業がない場合）

特定非営利活動法人　報道実務家フォーラム

（単位：円）

| 科目 | 金額 | 小計・合計 |
|---|---|---|
| 【A】経常収益 | | |
| 1　受取会費 | | 3,134,000 |
| 正会員受取会費 | 290,000 | |
| 賛助会員受取会費 | 2,844,000 | |
| 2　受取寄附金 | | 178,084 |
| 受取寄附金 | 178,084 | |
| 3　受取助成金等 | | 700,000 |
| 受取補助金 | 700,000 | |
| 4　事業収益 | | 11,235,150 |
| 事業収益 | 10,635,150 | |
| 協賛金 | 600,000 | |
| 5　その他の収益 | | 51,195 |
| 受取利息 | 30,325 | |
| 雑収入 | 20,870 | |
| 経常収益計 | | 15,298,429 |
| 【B】経常費用 | | |
| 1　事業費 | | |
| （1）人件費 | | 1,391,153 |
| 臨時雇賃金 | 1,391,153 | |
| （2）その他経費 | | 8,029,560 |
| 業務委託費 | 2,374,992 | |
| 諸謝金 | 1,114,228 | |
| 印刷製本費 | 231,997 | |
| 会議費 | 1,065,458 | |
| 旅費交通費 | 2,131,468 | |
| 通信運搬費 | 173,370 | |
| 消耗品費 | 571,277 | |
| 賃借料 | 285,680 | |
| 支払手数料 | 81,090 | |
| 事業費計 | | 9,420,713 |
| 2　管理費 | | |
| （1）人件費 | | 779,891 |
| 給料手当 | 766,690 | |
| 法定福利費 | 13,201 | |
| （2）その他経費 | | 2,972,713 |
| 業務委託費 | 1,981,108 | |
| 旅費交通費 | 45,320 | |
| 通信運搬費 | 356,044 | |
| 消耗品費 | 39,025 | |
| 地代　家賃 | 60,000 | |
| 支払手数料 | 491,126 | |
| 雑費 | 90 | |
| 管理費計 | | 3,752,604 |
| 経常費用計 | | 13,173,317 |
| 当期経常増減額　【A】－【B】　・・・① | | 2,125,112 |
| 【C】経常外収益 | | |
| 固定資産売却益 | | |
| 過年度損益修正益 | | |
| 経常外収益計 | | 0 |
| 【D】経常外費用 | | |
| 固定資産売却損 | | |
| 災害損失 | | |
| 過年度損益修正損 | | |
| 経常外費用計 | | 0 |
| 当期経常外増減額　【C】－【D】　・・・② | | 0 |
| 税引前当期正味財産増減額　①+②　・・・③ | | 2,125,112 |
| 法人税、住民税及び事業税　・・・④ | | 213,200 |
| 前期繰越正味財産額　・・・⑤ | | 18,285,991 |
| 次期繰越正味財産額　③－④+⑤ | | 20,197,903 |

書式第１５号（法第２８条関係）

事業報告用

# 2025年度　貸借対照表

特定非営利活動法人　報道実務家フォーラム

（単位：円）

| 科目 | 金額 | 小計・合計 |
|---|---|---|
| 【A】 資産の部 | | |
| 1 流動資産 | | |
| 現金 | 273,200 | |
| 普通預金 | 20,472,405 | |
| 流動資産合計 ・・・① | | 20,745,605 |
| 2 固定資産 | | |
| （1）有形固定資産 | | |
| 車両運搬具 | | |
| 什器備品 | | |
| （2）無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | | |
| 借地権 | | |
| （3）投資その他の資産 | | |
| 敷金 | | |
| 長期貸付金 | | |
| 固定資産合計 ・・・② | | |
| 【A】資産合計 ①+② | | 20,745,605 |
| 【B－1】 負債の部 | | |
| 1 流動負債 | | |
| 未払金 | 268,036 | |
| 預り金 | 209,666 | |
| 未払法人税等 | 70,000 | |
| 流動負債合計 ・・・③ | | 547,702 |
| 2 固定負債 | | |
| 長期借入金 | | |
| 退職給付引当金 | | |
| 固定負債合計 ・・・④ | | |
| 負債合計 ③+④ | | 547,702 |
| 【B－2】 正味財産の部 | | |
| 前期繰越正味財産額 | 18,285,991 | |
| 当期正味財産増減額 | 1,911,912 | |
| 正味財産合計 | | 20,197,903 |
| 【B】 負債及び正味財産合計 【B－1】＋【B－2】 | | 20,745,605 |

書式第１６号（法第２８条関係）

# 2025年度　計算書類の注記　事業報告用

特定非営利活動法人　報道実務家フォーラム

1．重要な会計方針

計算書類の作成は、ＮＰＯ法人会計基準（2010年７月20日　2017年12月12日最終改正　ＮＰＯ法人 会計基準協議会）によっています。

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

該当なし

(2) 固定資産の減価償却の方法

該当なし

(3) 引当金の計上基準

・退職給付引当金

該当なし

・　　引当金

(4) 施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理

該当なし

(5) 消費税等の会計処理

該当なし

2．事業別損益の状況

（単位：円）

| 科目 | フォーラム事業 | 地方フォーラム事業 | 子育てサイト事業 | 研究受託事業 | 調査報道大賞 | 就活ゼミ | 事業部門計 | 管理部門 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| Ⅰ　経常収益 | | | | | | | | | |
| 1．受取会費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 290,000 | 290,000 |
| 2．受取寄附金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3,022,084 | 3,022,084 |
| 3．受取助成金等 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 700,000 | 700,000 |
| 4．事業収益 | 6,906,150 | 94,000 | 0 | 3,300,000 | 0 | 335,000 | 10,635,150 | 0 | 10,635,150 |
| 5．協賛金 | 600,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 600,000 | 0 | 600,000 |
| 6．その他収益 | 8,360 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 8,360 | 42,835 | 51,195 |
| 経常収益計 | 7,514,510 | 94,000 | 0 | 3,300,000 | 0 | 335,000 | 11,243,510 | 4,054,919 | 15,298,429 |
| Ⅱ　経常費用 | | | | | | | | | |
| (1) 人件費 | | | | | | | | | |
| 給料 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 766,690 | 766,690 |
| 臨時雇賃金 | 1,391,153 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,391,153 | 0 | 1,391,153 |
| 法定福利費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 13,201 | 13,201 |
| ・・・・・・・・・ | | | | | | | | | |
| 人件費計 | 1,391,153 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,391,153 | 779,891 | 2,171,044 |
| (2) その他経費 | | | | | | | | | |
| 業務委託費 | 1,248,500 | 0 | 543,750 | 552,742 | 30,000 | 0 | 2,374,992 | 1,981,108 | 4,356,100 |
| 諸謝金 | 524,845 | 88,184 | 0 | 0 | 143,299 | 357,900 | 1,114,228 | 0 | 1,114,228 |
| 印刷製本費 | 218,863 | 13,134 | 0 | 0 | 0 | 0 | 231,997 | 0 | 231,997 |
| 会議費 | 952,458 | 113,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,065,458 | 0 | 1,065,458 |
| 旅費交通費 | 1,146,260 | 657,448 | 0 | 0 | 314,160 | 0 | 2,117,868 | 58,920 | 2,176,788 |
| 通信運搬費 | 90,290 | 83,080 | 0 | 0 | 0 | 0 | 173,370 | 356,044 | 529,414 |
| 消耗品費 | 522,061 | 10,257 | 34,320 | 0 | 4,639 | 0 | 571,277 | 39,025 | 610,302 |
| 賃借料 | 250,977 | 34,703 | 0 | 0 | 0 | 0 | 285,680 | 60,000 | 345,680 |
| 支払手数料 | 74,710 | 2,610 | 0 | 290 | 2,755 | 725 | 81,090 | 491,126 | 572,216 |
| 雑費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 90 | 90 |
| その他経費計 | 5,028,964 | 1,002,416 | 578,070 | 553,032 | 494,853 | 358,625 | 8,015,960 | 2,986,313 | 11,002,273 |
| 経常費用計 | 6,420,117 | 1,002,416 | 578,070 | 553,032 | 494,853 | 358,625 | 9,407,113 | 3,766,204 | 13,173,317 |
| 当期経常増減額 | 1,094,393 | -908,416 | -578,070 | 2,746,968 | -494,853 | -23,625 | 1,836,397 | 288,715 | 2,125,112 |

3．施設の提供等の物的サービスの受入の内訳

（単位：円）

| 内容 | 金額 | 算定方法 |
|---|---|---|
| | | |

4．　使途等が制約された寄附金等の内訳
使途等が制約された寄附金等の内訳（正味財産の増減及び残高の状況）は以下の通りです。
当法人の正味財産は　　円ですが、そのうち　　円は、下記のように使途が特定されています。
したがって使途が制約されていない正味財産は　　円です。

（単位：円）

| 内容 | 期首残高 | 当期増加額 | 当期減少額 | 期末残高 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 合計 | | | | | |

5．　固定資産の増減内訳

（単位：円）

| 科目 | 期首取得価額 | 取得 | 減少 | 期末取得価額 | 減価償却累計額 | 期末帳簿価額 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 有形固定資産 | | | | | | |
| 車両運搬具 | | | | | | |
| 什器備品 | | | | | | |
| ・・・・・・・・・ | | | | | | |
| 無形固定資産 | | | | | | |
| ・・・・・・・・・ | | | | | | |
| 投資その他の資産 | | | | | | |
| 敷金 | | | | | | |
| ・・・・・・・・・ | | | | | | |
| 合計 | | | | | | |

6．　借入金の増減内訳

（単位：円）

| 科目 | 期首残高 | 当期借入 | 当期返済 | 期末残高 |
|---|---|---|---|---|
| 合計 | | | | |

7．　役員及びその近親者との取引の内容
役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

（単位：円）

| 科目 | 計算書類に計上された金額 | 内、役員との取引 | 内、近親者及び支配法人との取引 |
|---|---|---|---|
| （活動計算書） | | | |
| 活動計算書計 | | | |
| （貸借対照表） | | | |
| 貸借対照表計 | | | |

8．　その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項

・　事業費と管理費の按分方法

・　その他の事業に係る資産の状況

書式第１７号（法第２８条関係）

事業報告用

# 2025年度　財産目録

特定非営利活動法人 報道実務家フォーラム

（単位：円）

| 科目 | 金額 | 小計 | 合計 |
|---|---|---|---|
| 【A】資産の部 | | | |
| 1 流動資産 | | | |
| 現金預金 | | | |
| 手元現金 | 273,200 | | |
| 普通預金 | 20,472,405 | | |
| | | 20,745,605 | |
| 未収金 | | | |
| 棚卸資産 | | | |
| 流動資産合計 ・・・① | | | 20,745,605 |
| 2 固定資産 | | | |
| （1）有形固定資産 | | | |
| （2）無形固定資産 | | | |
| （3）投資その他の資産 | | | |
| 固定資産合計 ・・・② | | | |
| 【A】資産合計 ①+② | | | 20,745,605 |
| 【B－1】負債の部 | | | |
| 1 流動負債 | | | |
| 未払金 | 268,036 | | |
| 未払法人税等 | 70,000 | | |
| 預り金 | 209,666 | | |
| 流動負債合計 ・・・③ | | 547,702 | |
| 2 固定負債 | | | |
| 固定負債合計 ・・・④ | | | |
| 【B－1】負債合計 ③+④ | | | 547,702 |
| 【B－2】正味財産合計 【A】－【B－1】 | | | 20,197,903 |

書式第１８号（法第２８条関係）

**事　業　報　告　用**

# ２０２５年度年間役員名簿

（前事業年度において役員であったことがある全員の氏名及び住所又は居所並びにこれらの者についての前事業年度における報酬の有無を記載した名簿）

特定非営利活動法人　報道実務家フォーラム

## １　確認事項（法第２０条及び第２１条を確認の上、チェックを入れてください。）

☑以下の役員には、欠格事由者が含まれません。（法第２０条関係）
☑各役員について、親族の規定に違反していません。（法第２１条関係）

## ２　役員一覧

| | 役　名<br>どちらかに○ | （フリガナ）<br>氏　　名 | 住　所　又　は　居　所 | 前事業年度内の就任期間 | 報酬を受けた期間<br>（該当者のみに記入） |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | （理事）・監事 | セガワ　シロウ<br>瀬川　至朗 | [redacted] | ２０２４年４月１日<br>～２０２５年３月３１日 | 年　月　日<br>～<br>年　月　日 |
| 2 | （理事）・監事 | ダイ　ヒロシ<br>臺　宏士 | | ２０２４年４月１日<br>～２０２５年３月３１日 | 年　月　日<br>～<br>年　月　日 |
| 3 | （理事）・監事 | ミキ　ユキコ<br>三木　由希子 | | ２０２４年４月１日<br>～２０２５年３月３１日 | 年　月　日<br>～<br>年　月　日 |
| 4 | （理事）・監事 | サワ　ヤスオミ<br>澤　康臣 | | ２０２４年４月１日<br>～２０２５年３月３１日 | 年　月　日<br>～<br>年　月　日 |
| 5 | 理事・（監事） | コマチヤ　イクコ<br>小町谷　育子 | | ２０２４年４月１日<br>～２０２５年３月３１日 | 年　月　日<br>～<br>年　月　日 |
| 6 | （理事）・監事 | クマダ　ヤスノブ<br>熊田　安伸 | | ２０２４年４月１日<br>～２０２５年３月３１日 | 年　月　日<br>～<br>年　月　日 |
| 7 | 理事・監事 | | | 年　月　日<br>～<br>年　月　日 | 年　月　日<br>～<br>年　月　日 |
| 8 | 理事・監事 | | | 年　月　日<br>～<br>年　月　日 | 年　月　日<br>～<br>年　月　日 |
| 9 | 理事・監事 | | | 年　月　日<br>～<br>年　月　日 | 年　月　日<br>～<br>年　月　日 |
| 10 | 理事・監事 | | | 年　月　日<br>～<br>年　月　日 | 年　月　日<br>～<br>年　月　日 |

書式第４号（法第１０条・第２８条関係）

設立・事業報告用

# 社員名簿（社員のうち１０人以上の者の名簿）

特定非営利活動法人　報道実務家フォーラム

| | 氏　　名 | 住　所　又　は　居　所 |
|---|---|---|
| 1 | 瀬川至朗 | [redacted] |
| 2 | 畠宏士 | |
| 3 | 澤康臣 | |
| 4 | 珍田秀樹 | |
| 5 | 日下部聡 | |
| 6 | 後藤由耶 | |
| 7 | 河野聡 | |
| 8 | 橋場義之 | |
| 9 | 熊田安伸 | |
| 10 | 青木友里 | |
| 11 | | |
| 12 | | |